粕谷和夫の観察日より。咲いた、咲いた、チューリップの花が、並んだ、並んだ、赤白黄色。4月6日の湯殿川での野鳥定期カウントの一コマです。川沿いの畑で思わず童謡を口ずさんでしまいました。チューリップの後ろの花はナズナとホトケノザ。湯殿川ではカワセミが11羽、クイナが2羽確認できました。

# 紅葉台



# 新聞

第127号 2024年 4月27日 発行人: 関谷 孝

### 粕谷会長の観察日記



田んぼの上の電線から地面で動く虫に 狙いを定めて飛び降りる直前の**モズ** (メス)です。

100%成功するわけでないので、うまく獲物を捕らえられたかどうかは不明です。モズのバックの黒いものは民家の屋根です。



川町谷戸の田んぼのため池、水ぬるむ春、大きな**ヒキガエル**が3匹、水中にいてバトルしていました。 多分このカエルはオスで産卵が始まる夜間までメスがやってく

るのを待っているものと思われます。



3月29日、午前の本降りの雨が上がり、午後は好天になりました。しかも本格的な春が訪れたような陽気になりました。久しぶりの暖かさに誘われて墓参りに行き、近くの川口川に行ってみました。そこには**ヨシガモ**という珍しいカモのペアーがいて餌をとっていました。このカモもそろそろ北の

国の繁殖地に旅立つものと思われます。



八王子市内の某公園、冬を越した**ススキの穂**です。ススキ自らがこのような美しい姿に変身していました。 しばし見とれてしまい、カメラに収

めました。



ッバメシジミの春型です。翅裏の赤い斑点が特徴でチャーミングです。翅の後ろからツバメのように「尾」が出ていることにご注目ください。4月1日多摩川の河原です。

### 南高尾は自然の宝庫

3月31日一気に暖かくなった日、南高尾の地元の人の案内で秘密の場所に案内してもらいました。なぜ秘密かというと、多くの人に知られると盗掘やたくさんの人が来て荒らしてしまうということがあるからと言っていました。

地元に長く住んでいるSさんは、地域のお年寄りが元気に暮らしていることを大事に思っています。ある日、地域のお年寄りの方と山へ一緒に登っていった時に、「こ



んな美しい山野草が身近で見られたらいいな」「もうここには一人で来ることも出来ないから」と話していたことに心を動かされたそうです。 それなら、「身近なところで花を見られるようにしよう」と地域の方の

協力を得て、山野草を育て守ってきました。今ではその 甲斐があってカタクリの花・クマガイソウ・福寿草の群

生を近くで見ることが出来ます。個人の方の裏山ですが、山の斜面一帯にカタクリの花が咲いていました。他にも、アズマイチゲやフキノトウ、ニリンソウなども咲いていました。地元の人たちの墓地の斜面や蛇塚に



もカタクリの群生があります。そのために暑い夏の日に 草刈りをしています。また、地域の方が喜ぶようにと水 芭蕉やザゼンソウを植樹して育てています。そんな秘密 の場所に案内してもらいました。(知りたい方は個別に



教えます)

この地域はお年寄りが多く裏山や庭の手入れが大変です。S さんは自分から進んで草刈りをしています。それは、人助けだけでなく、この地域を大切にし、みんなが住みやすい

街にしたいとの思いがあります。以前川口町のアナベルというアジサイの花を育てている高野さんを紹介しましたが、同じように地域を愛する思いがこのような活動を支えていることに素晴らしいことだと感心しました。そう思うと花を見て人の心を思うことに繋がり、一層その美しさを感じ心癒される思いがしました。



#### 梅ノ木平は・・おまけの話

左の写真は、関東ふれあいの道の 起終点です。南高尾の梅ノ木平の 近くに石碑が立っています。見落 としがちですが、ここから関東地 方1都6県をぐるりと一周する長

距離自然歩道で総延長は1,800kmあります。皆さんもハイキングなどで「関東ふれあいの道」の標識に出会ったことがあると思います。この高尾が起終点というのも不思議なご縁です。関東ふれあいの道は、美しい自然や田園風景、歴史や文化遺産に触れあうことが出来ます。10km前後に区切った日帰りコースを160コース設定し、それぞれ鉄道やバスに連絡できるようになっています。皆さんも体力づくりもかねてチャレンジしてみるのもいいのではないでしょうか。もし、行かれたならこの新聞に投稿してください。

紅葉台新聞は、「高尾フモト同盟」の HP に公開されています。高尾の情報や働く人たちが紹介されています。興味を持った方は、覗いてみてください。また、皆様からの情報や投稿もお待ちしています。